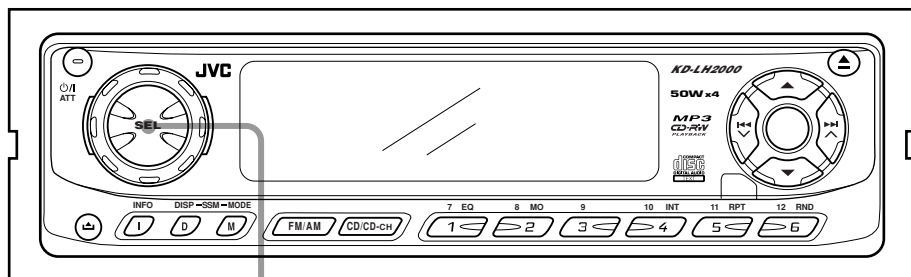


CDレシーバー

型名 KD-LH2000



デモ表示について

本機には**Movie Demo**というデモ表示機能がついています。20秒以上ボタン操作をしないと、自動でデモ表示になります。解除するときは、**SEL**ボタンを2秒以上押したあと回転ボリュームを左方向に回して「**All Time**」を「**Off**」に切換えます。詳しくは **33** ページの「各設定モード(**PSM**モード)の機能説明(1)」をご覧ください。

— お買い上げありがとうございます —

⚠️ ご使用前に

この「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

	ページ		ページ
● 安全上のご注意	3～5	・ダイレクトフォルダアクセス機能	26
● 使用上のご注意	6～7	・次または前のフォルダにスキップする	26
・CD/CD-R/CD-RWの取扱い		・フォルダ名を表示させてから	
について	7	選曲する	26
● 各部の名前	8～9	・MP3ディスク演奏中の表示を変える	26
● リモコン(RM-RK41J :別売り)		・ランダム演奏	27
の使いかた	10～11	・リピート演奏(くり返し演奏)	27
・リモコンの使いかた	10	・イントロスキャン	27
・電池の入れかた	10		
・各部の名前	11	● CDチェンジャー(別売り)	
● 基本操作	12～13	のCDを聞く	28～30
・時計を合わせる	13	・全曲演奏(全CDのくり返し演奏)	28
● ラジオを聞く	14～17	・数字ボタンでCDを選ぶ	28
・放送局を選ぶ	14	・▲(または▼)ボタンでCDを選ぶ	28
・放送局を自動でメモリー(記憶)させる	14	・ディスク名を表示させてからCD	
・放送局を選んでメモリー(記憶)させる	15	を選ぶ	29
・放送局を呼び出す(プリセット選局)	15	・CD演奏中の表示内容を変える	29
・放送局リストから選局する	16	・ランダム演奏	30
・道路交通情報を聞く	16	・リピート演奏(くり返し演奏)	30
・放送受信中の表示内容を変える	17	・イントロスキャン	30
・FM放送が雑音で聞きにくいときは	17	● 他の機器の音を聞く	31
● CDを聞く	18～21	● SELボタンを使った各種設定	
・CD-R/CD-RWディスクについて	19	と調節	32～37
・CDテキストについて	19	・各設定モード(PSMモード)の一覧と	
・ダイレクト演奏	19	設定方法	32
・ランダム演奏	20	・各設定モード(PSMモード)の	
・リピート演奏(くり返し演奏)	20	機能説明(1)	33
・イントロスキャン	20	・各設定モード(PSMモード)の	
・CDのお手入れ	20	カラー設定方法	34
・CD演奏中の表示内容を変える	21	・各ソース(音源)ごとに好みの	
・CDを取り出す	21	カラーを設定する	35
・CDの盗難防止	21	・FM/AM/CD/CD-CHごとに	
		カラーを設定する	35
● MP3について	22～23	・カラーを調節する	36
・MP3フォルダ/MP3ファイルの		・各設定モード(PSMモード)の	
演奏順序	23	機能説明(2)	37
● MP3ディスクを聞く	24～27	● MODEボタンの使いかた	38
・CDを取り出す	24	● レベルメーターの表示切換え	39

● 文字の入力のしかた……………	ページ 40	● コントロールパネルを外す……………	ページ 46
・ 文字の入力と修正・削除……………	40	・ コントロールパネルを取り付ける……………	46
・ 文字配列表……………	41	● 故障かな？と思う前に……………	47～49
● 音量・音質の調節……………	42～43	・ こんな表示のときは……………	49
・ ソース(音源)ごとの音量差を調節する……………	43	● 保証とアフターサービス……………	50
● EQの使いかた……………	44～45	● 主な仕様……………	51
・ 調節したEQをメモリーしておく……………	45	● お手入れ……………	裏表紙
● コントロールパネルの着脱……………	46		

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起これば、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となります。

指をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL^{トランスフォーマーレス}回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りに行ってください。

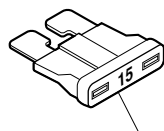
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖側が車の金属部に接続されていたり、⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。

*BTL：Balanced Transformerlessの略
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



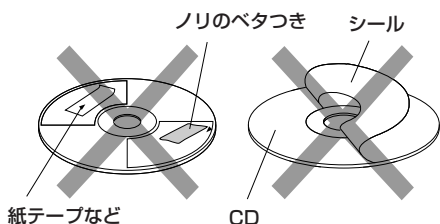
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

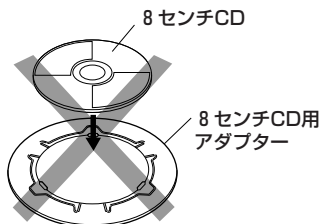
携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは** 専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- **CD-R/CD-RWの取扱いについて**
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- **記録面やラベル面に紙テープやシールを張ったりしないでください。**
そのまま使用するとCDが取り出せなくなったり、故障の原因となります



- **ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。**
円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。**
8センチCDは、そのまま挿入してください。



- **長時間CDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。**

各部の名前

—□の数字のページに説明があります。—

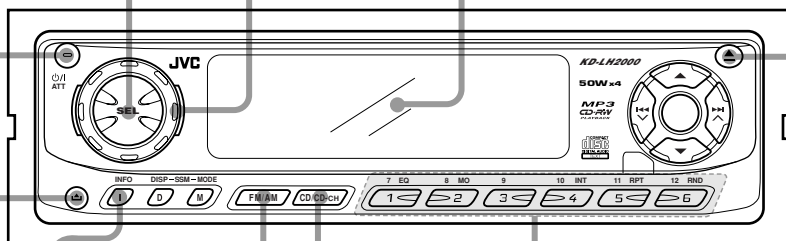
⏻/⏻(電源)/ATTボタン ^{アッテネーター} **12**
電源の「入」↔「切」ができます。

▲(CD取出し)ボタン
18 24

SELボタン ^{セレクト} **13 32 42**
音量・音質調節のモードが選べます。
2秒以上押しと、時計合わせなどの各種設定モード(PSM)になります。

回転ボリューム **12 32 42**
音量調節や各種の設定ができます。

表示窓(ディスプレイ)



INFOボタン ^{インフォメーション} **16**
道路交通情報を聞くとき使います。

F M/A Mボタン* **12 14**

数字ボタン
・「CD」「MP3 ディスク」「CDチェンジャー」のとき：
1～12が機能します。**19 25 28**
・「ラジオ」のとき：
1～6が機能します。**15**

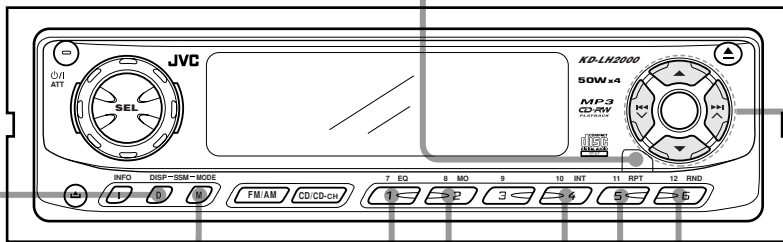
CD/CD-CHボタン* **12 21 28 31**

⏻(コントロールパネル取り外し)ボタン **46**

◀◀、▶▶ボタン／選局ボタン(∨、∧) ボタン／▲、▼ボタン
ソース(音源)によって働きが異なります。

ソース (音源)	「CD」「MP3ディスク」 「CDチェンジャー」	「ラジオ」
働 き	曲の頭出しや早送り、早戻しができます。 18 24 28 「MP3ディスク」の場合▲(または▼)ボタンは、次または前のフォルダにスキップすることができます。25 「CDチェンジャー」の場合、CDを選ぶことができます。28	放送局を選局するとき使います(オート選局/マニュアル選局)。14 ▲(または▼)ボタンはプリセット選局ができます。15

リモコン受光部



モード MODEボタン

数字ボタンの働きを一時的に変えることができます。

14 17 20 27 30 38

ディスプレイ DISPボタン

14 17 21 26 29

数字ボタン(MODEボタンを押したあとの働き)

「Mode」表示が点灯中に操作します。

- 「CD」「MP3ディスク」のとき：20 27 30
「CDチェンジャー」



イントロ スキャン
リピート 演奏
ランダム 演奏

- 「ラジオ」のとき：17

8 MO
2 — モノラル/オート受信の切換 (FM放送のときのみ)

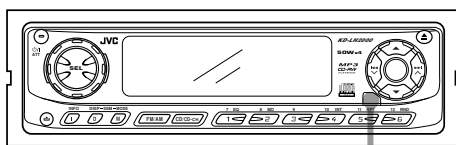
- ソース(音源)に関係なく

7 EQ
1 ← — EQボタン: 39 44

リモコン(RM-RK41J :別売り)の使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR 2025:市販品)と交換してください。



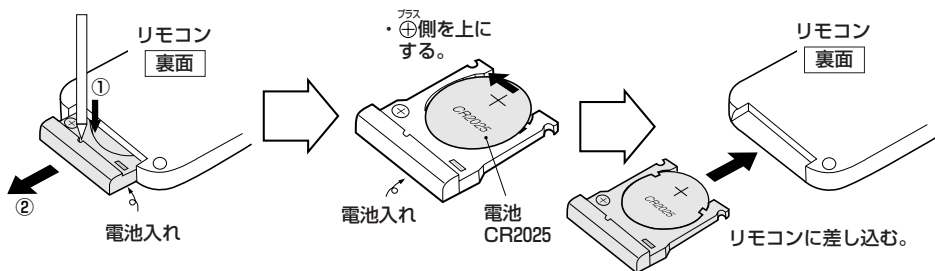
リモコン受光部

ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどで
押して取り出す。



● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

各部の名前

電源/ATTボタン

1秒以上押しすと電源の「入」↔「切」ができます。「ポン」と押しすと音量を一時的に下げることができます。

DISC+/BAND
ボタン

- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。
- ・「MP3ディスク」のとき：押しごとに次のフォルダにスキップします。
(PROGRAMの機能はありません)

DISC-/PRESET
ボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(1ch～6ch)の選局ができます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。
- ・「MP3ディスク」のとき：押しごとに前のフォルダにスキップします。

VOLUME+、
-(音量)ボタン

音量の調節ができます。

- ・+：音量が上がります。
- ・-：音量下がります。

SOUNDボタン

聞きたい音楽に合わせてEQのパターンがダイレクトに選べます。

SOURCEボタン

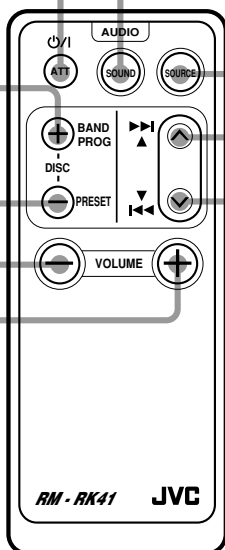
ソース(音源)を選ぶとき使います。
押しごとに

ラジオ → CDチェンジャー → CD
(LINE IN)

と変わります。ただし本体にCDが入っていないかったりCDチェンジャーが接続されていないときはラジオのみになります。

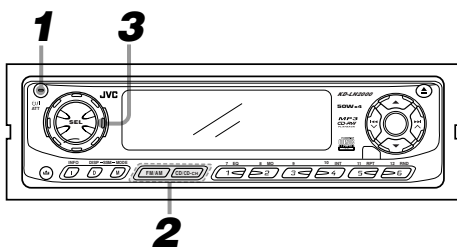
▲、▼ボタン

- ・「ラジオ」のとき：選局(自動選局)ができます。
- ・「CD」と「CDチェンジャー」「MP3ディスク」のとき：曲(ファイル)の頭出しや早送り、早戻しができます。
(▲と▼の機能はありません)



基本操作

- 準備** ●車のエンジンをかける。



1 電源/ATTボタンを押して電源を入れる



- ・表示窓が点灯し、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はFM1…が表示されます。

2 ソース(音源)を選ぶ

FM/AM: 「ラジオ」… 押すごとにバンドが選べます。

FM 1 → FM 2
↑ ↓
AM 2 ← AM 1

CD/CD-CH: 「CD」*1



「CDチェンジャー」*2

*1 本機にCDまたはMP3ディスクが入っているときのみ

*2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

- これらのボタンは、**ダイレクトソース切換機能**のほかに電源を「入」にすることもできます。

3 回転ボリュームを回して音量を調節する



- ・調節範囲
Volume 00 ~ Volume 50
(初期設定 Volume 15)

- 音量を一時的に下げる

●電源/ATTボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●電源を「切」にする



●電源/ATTボタンを1秒以上押します。「JVC」が表示され電源が切れます。

- ・1秒以上押す。

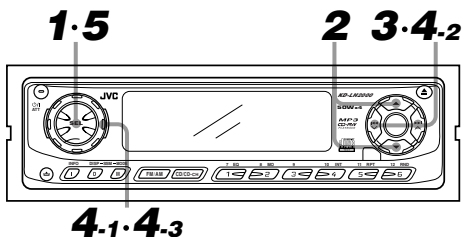
●車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作できます。

- ・▲(CD取出し)ボタン… CDの出し入れとパネルの開閉
 - ・▲(コントロールパネル取り外し)ボタン
- ただし、電源を入れることはできません。

〈お知らせ〉

- 「CDチェンジャー」は、CD/CD-CHボタンのモードをライン入力に切換えると「LINE IN」になります。→32 37 ページ参照
- ▲(CD取出し)ボタンは、電源「切」のときも操作できます。
- 音量・音質の調節は42~43 ページをご覧ください。

時計を合わせる



1 SELボタンを2秒以上押す



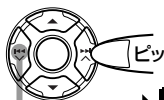
15秒以内に

2 ▲(または▼)ボタンを押して「Clock」を選ぶ



15秒以内に

3 ►►I(またはI◄◄)ボタンを数回押して「Clock Hr」を選ぶ



→Clock Hr

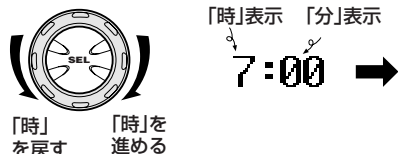
逆に選べます。

15秒以内に

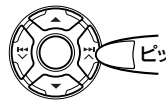
4 回転ボリュームと►►Iボタンで現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる
(12時間表示方式です)

4-1 「時」を7に合わせる



4-2 「Clock Min」を選び...



4-3 「分」を30に合わせる



15秒以内に

5 SELボタンを押す



・元のソース(音源)の表示に戻ります。
SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

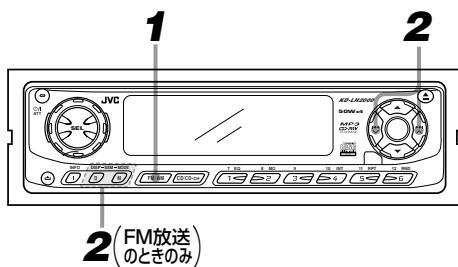
- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順**1**～**5**の操作をします。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、**32**～**37**ページをご覧ください。

ラジオを聞く

1 FM/AMボタンを押してバンドを選ぶ

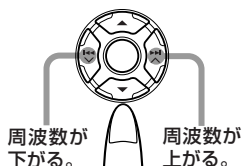


・押すごとに
FM1 → FM2 → AM1
← AM2 ←
 と選べます。



放送局を選ぶ

2 選局ボタン(▲または▼)を押して選局する



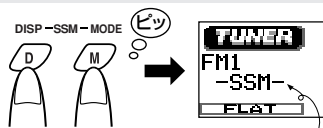
- **オート選局**：「**ポン**」^{サーチ}と押して離す。
 (シーク) 「**SEARCH**」が表示され本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局**：1秒以上押して「**Manual Search**」^{サーチ}を点滅表示させたあと、「**ポン・ポン**」と押して選局する。
 ・FMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

〈お知らせ〉

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

放送局を自動でメモリー(記憶)させる —SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

2 MODEとDISPボタンを同時に2秒以上押す(FM放送のときのみ)



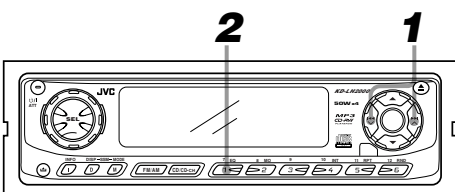
- 同時に2秒以上押す。終わるまで表示されます。
- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの**1**～**6**にメモリーしていきます。
- メモリーし終わると数字ボタン**1**に記憶された放送局が表示されます。
- FM1(またはFM2)ごとに6局ずつメモリーされます。

〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにFM1またはFM2にメモリーしてあった放送局は取り消されます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- AM放送のときは、SSM機能が働きません。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。→16ページ参照

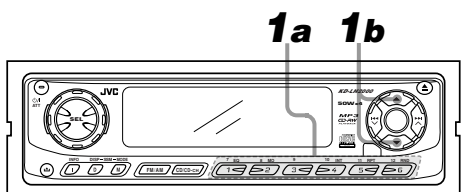
放送局を選んでメモリー(記憶)させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。



例：FM放送の81.3MHzを **1** ボタンにメモリーする

1 選局ボタン(▲または▼)でFM81.3MHzを選局する

→14ページの「放送局を選ぶ(オート選局またはマニュアル選局)」参照

2 数字ボタンの **1 を2秒以上押す**

・2秒以上押す。
 押した数字ボタンと同じプリセット数字が表示されるとメモリーされます。



●数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。AM放送は、必ずこの操作でメモリーしてください。

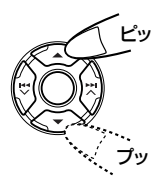
1a 数字ボタン(1~6)を押して選局する

(プリセット選局といいます)



●数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。
 (数字ボタンは2秒以上押し続けないでください)

1b ▲(または▼)ボタンを押して選局する



プリセット **1** → **2** …… → **6**
 の順に選局できます。

プリセット **6** → **5** …… → **1**
 の順に選局できます。

〈お知らせ〉

- FM放送の場合、この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

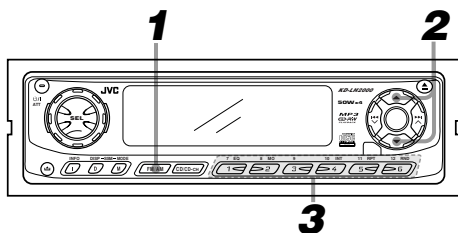
ご注意

●バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また時計表示は**1:00**に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

ラジオを聞く(つづき)

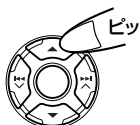
放送局リストから選局する

プリセットした放送局を一覧表示してから選局することもできます。



1 FM/AMボタンを押してバンドを選ぶ

2 ▲(または▼)ボタンを1秒以上押し続けてプリセットされている放送局リストを表示させる



例：FM1のとき

TUNER	1	81.3	4	86.3
FM1	P1	2	3	Rock
Preset				
STEREO				
FLAT	3	84.7	5	POP

・放送局リスト表示中に▲(または▼)ボタンを押すと、バンドごとに表示が変更されます。

・FM1のとき
FM1リスト
↓
FM2リスト

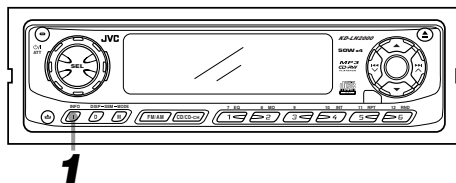
・AM1のとき
AM1リスト
↓
AM2リスト

5秒以内に

3 数字ボタンを押して選局する



道路交通情報を聞く



1 INFOボタンを押す

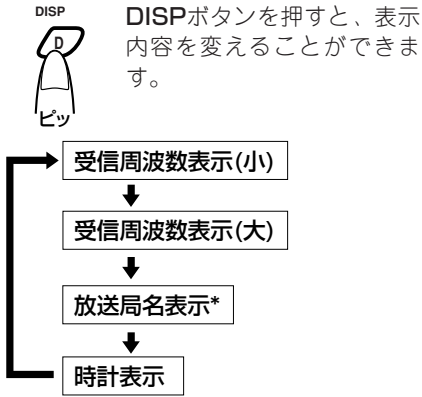


INFO
AM 1620 kHz

高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでINFOボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1620kHzが受信できます。

- ・INFOボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- ・このモードのときはボリュームが独立しております。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- ・なお、別の放送局を受信中にINFOボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量がINFOボタンにメモリーされます。
- ・AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域のときは、あらかじめINFOボタンにメモリーし直しておくくと便利です。

放送受信中の表示内容を変える



*放送局名を入力していないときは「NO NAME」が表示されます。なお、放送局名はスクロール表示されません。

＜お知らせ＞

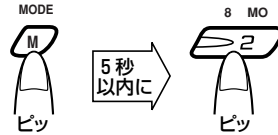
- 放送局名を入力するときは40ページの「文字の入力のしかた」をご覧ください。
- 放送局名を一度入力すると、バンドを変えてその周波数を選局しても同じ放送局名が表示されます。

アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナブラスター装備車の場合は、アンテナコントロール電源コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を「ラジオ」にすると自動的にアンテナ(ブラスター)側に電源が供給されます。「CDチェンジャー」や「CD」などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。
(アンテナコントロール電源の最大コントロール電流は250mAです)

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送を「Mono On」に切換えます。



「Mode」表示が点灯します。

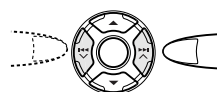
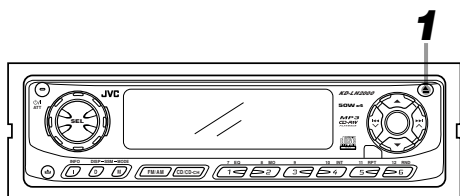


表示窓に「MONO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「Mono Off」に切換えます。FMステレオ放送を受信すると「STEREO」が表示されます。

＜お知らせ＞

- MODEボタンの使いかたについては、38ページをご覧ください。

CDを聞く



曲の頭出し
(スキップ)

▶▶ : 押しごとに次の曲の頭に移ります。

◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押しごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・
早戻し
(サーチ)

▶▶ : 押し続けている間早送りされます。

◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。

演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

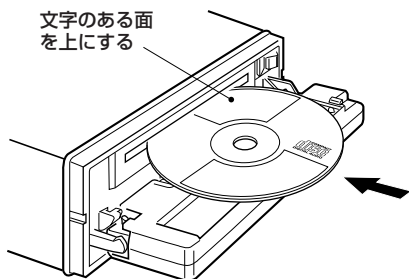
1 ▲(CD取出し)ボタンを押す



・コントロールパネルが開いてCDの挿入口が現われます。

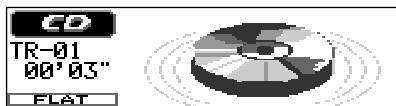
2 CDを入れ、コントロールパネルを閉める⇒ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート

文字のある面
を上にする



・途中まで入ると「ピッ」音のあと自動で引き込まれます。

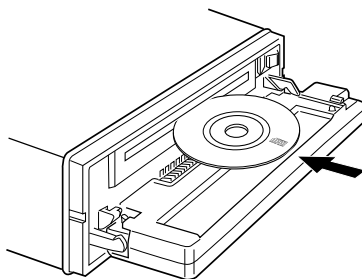
・「- CD Play」表示中は、CDのデータを読み込んでいます。終わると総曲数と総演奏時間表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。



- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、演奏が中断したところから自動的に演奏がスタートします。

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れていきます。



＜お知らせ＞

- 文字のある面に または 、 のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

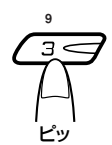
- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクおよびMP3ファイルで記録されているディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- 本機は半角の英数字に限り対応しております。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。

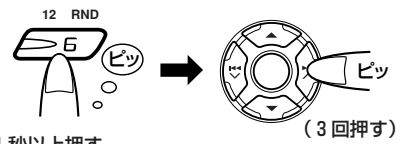


- 1～6曲目
数字ボタンを「ボン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。
例：12曲目のとき



- 13曲目以上は
▶▶ ボタンを併用します。

例：15曲目



- 1秒以上押す。

CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。DISPボタンを押すと表示が変わります。

CDを聞く(つづき)

ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



「Mode」表示が点灯します。

「Random On」にします。



- 表示窓に「RANDOM」が表示され、ランダム演奏になります。
- 解除するときには、もう一度同じ操作をして「Random Off」にします。

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



「Mode」表示が点灯します。

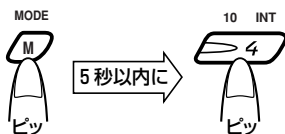
「Repeat On」にします。



- 表示窓に「REPEAT」が表示され、1曲リピート演奏になります。
- 解除するときには、もう一度同じ操作をして「Repeat Off」にします。

イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



「Mode」表示が点灯します。

「Intro On」にします。



- 表示窓に「INTRO」が表示され、イントロスキャンになります。
- 途中でイントロスキャンを解除するときは、もう一度同じ操作をして「Intro Off」にします。
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

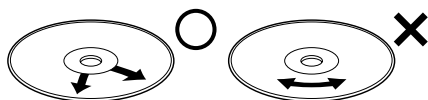
〈お知らせ〉

- MODEボタンの使いかたについては、**38**ページをご覧ください。

CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ

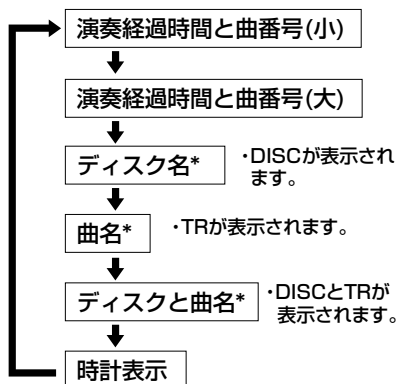
連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。



*記録されていないCDでは「NO NAME」表示になります。

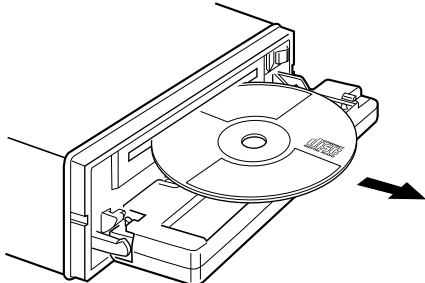
〈お知らせ〉

- ディスク名/曲名を入力するときは④④ページの「文字の入力のしかた」をご覧ください。
- ディスク名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：**Once**(お買い上げ時の状態)になっています。**Auto**(自動)または**Off**(切)に変えることもできます。
→②③ページ参照
- 文字表示は半角英数字が表示されます。
- 漢字や全角文字には対応していません。

CDを取り出す



▲(CD取出し)ボタンを押すと、CD挿入口が現われCDが出てきます。CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます)

〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDを取り出すと電源が切れます。

CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができます。



- 「No Eject」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「Eject OK」が点滅表示されCDの取り出しができるようになります。

〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

MP 3 について

MP 3 とは

MP 3 (MPEG Audio Layer 3 の略)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP 3 を使用すれば、元の音楽データを約10分の1に圧縮できます。詳しくは別冊の「音楽用ファイルMP 3 Q&A集」をご覧ください。

●再生できるメディア

本機はMP 3 形式のCD-ROMまたはお客様が編集されたCD-R(レコーダブル)、CD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。

ディスクはISO9660レベル1およびレベル2およびJolietでフォーマットされたものが再生可能です。本機ではマルチセッション対応で記録したディスクも再生できます。必ずセッションクローズ処理をしてください。

●ID3 Tagについて

ID3 Tagのバージョン1.0と1.1(アルバム名、アーティスト名および曲タイトル)を表示することができます。文字種は半角の英数字です。なお、ID3 Tagのバージョン2には対応していません。

●ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字で入力してください。これ以外で入力されていると正常に表示されません。また、MP 3 ファイルと認識されて再生できるファイルは、MP 3 の拡張子*(.MP 3)がついたものだけです。

*拡張子とは
ファイルの種類や記録形式を見分けるために、
ファイル名につけられる文字列のこと。

〈お知らせ〉

- 拡張子(.MP 3)は、必ず半角で入力してください。全角で入力すると、MP 3 ファイルとして認識されません。
- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP 3 Q&A集」もご覧ください。

●使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名につけられる最大文字数(区切り文字“.”と拡張子MP 3 を含む)でISO9660では1バイト文字を使用したときの文字数です。

- ISO9660レベル1 : 12文字
- ISO9660レベル2 : 31文字
- Joliet : 64文字

ただし本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大フォルダ階層 : 8 階層
- フォルダ/ファイルの最大総数 : 289

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP 3 ファイルは、正常に再生できなかったりファイル名/フォルダ名が正しく表示されないことがあります。

またライティングソフトによってフォーマットの設定方法が異なることがあります。このようなときは、ライティングソフトのフォーマット設定をもう一度確認のうえ、その取扱説明書に従って正しく設定し直してください。

●圧縮ソフトとライティングソフトの設定

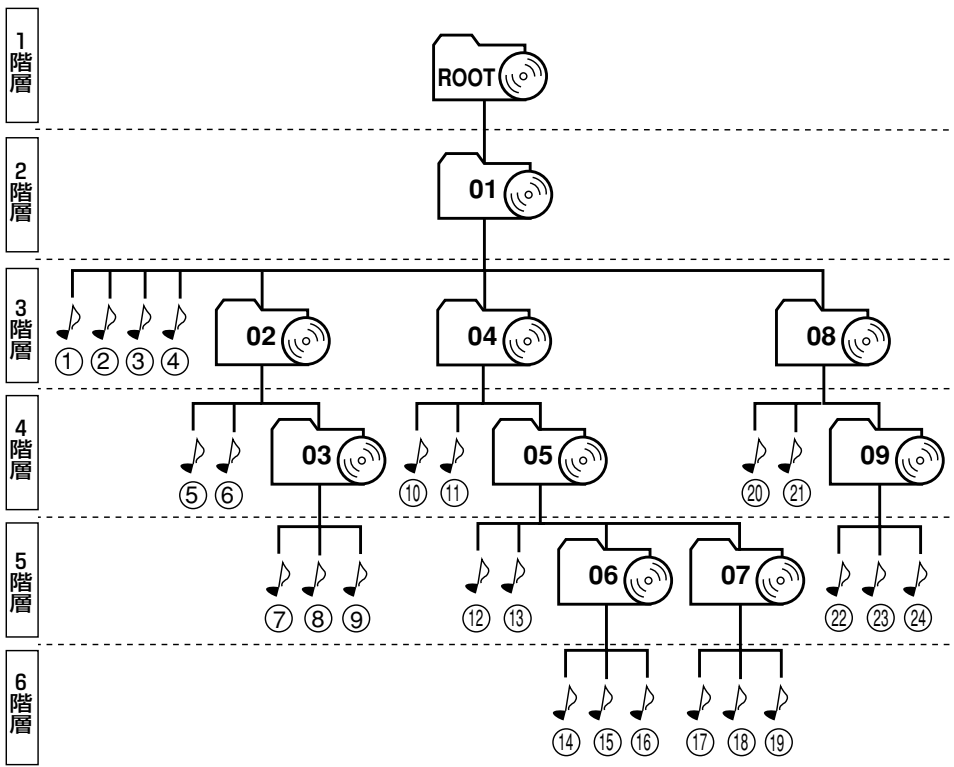
MP 3 ファイルに圧縮するとき、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は「128 Kbpsの固定」を推奨します。また最大容量まで記録するときは、追記禁止の設定をしてください。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録するときは「Disc at Once」の設定をしてください。

〈お知らせ〉

- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP 3 Q&A集」もご覧ください。

MP3 フォルダ / MP3 ファイルの演奏順序

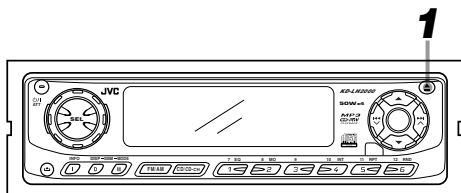


	ルート
	フォルダ
	MP3ファイル (トラック)

〈お知らせ〉

- ルートとは、現在開いているMP3ディスクの最上階層のフォルダのことです。
- 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3ディスクに書き込まれた順序で演奏されます。一般的には名前の数字・アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A, 01B…など)をつけると、演奏順序を指定できます。

MP3ディスクを聞く

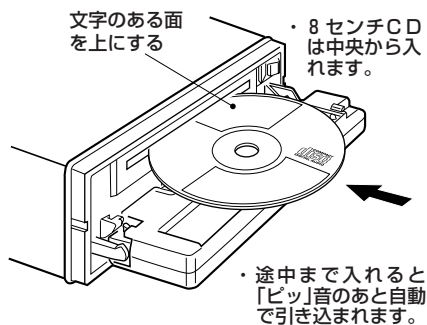


1 ▲(CD取出し)ボタンを押す

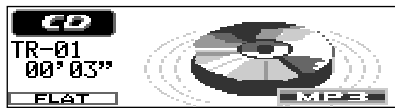


・コントロールパネルが開いてCDの挿入口が現れます。

2 CDを入れ、コントロールパネルを閉める⇒ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート



・「- - CD Play」表示中はデータを読み込んでおり、「File Check」点滅表示のあと、フォルダ数とMP3ファイル数表示に変わり演奏がスタートします。



- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。

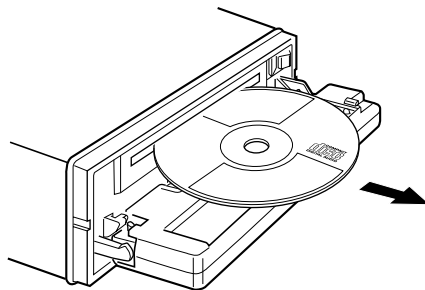


ファイルの頭出し (スキップ)	▶▶ : 押しごとに次のファイルの頭に移ります。 ◀◀ : 演奏中のファイルの頭に戻ります。押しごとに前のファイルの頭に戻ります。
早送り・早戻し (サーチ)	▶▶ : 押し続けている間早送りされます。 ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

CDを取り出す



▲(CD取出し)ボタンを押すと、CD挿入口が現われCDが出てきます。
CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます)

＜お知らせ＞

- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。

ダイレクトフォルダアクセス機能

演奏中に聞きたい曲(ファイル)が入っているフォルダに合わせて数字ボタンを押します。すぐそのフォルダに移り演奏がスタートします。



・フォルダ 01～06
数字ボタンを「ポン」と押します。

例：フォルダ 03
のとき



・フォルダ 07～12
数字ボタンを1秒以上押します。

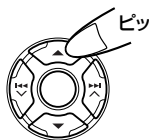
例：フォルダ 12
のとき



〈お知らせ〉

- MP3 ディスクのフォルダ名の頭に2ケタの数字(01A、02A…など)をつけておかないとダイレクトに演奏することはできません。

次または前のフォルダにスキップする



▲ボタンを押すごとに、次のMP3を含むフォルダにスキップします。

- ・MP3ファイルのフォルダ3を演奏中のとき

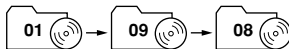


- ・MP3ファイルのフォルダ5を演奏中のとき

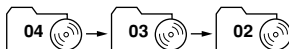


▼ボタンを押すごとに、前のMP3を含むフォルダにスキップします。

- ・MP3ファイルのフォルダ1を演奏中のとき



- ・MP3ファイルのフォルダ4を演奏中のとき



〈お知らせ〉

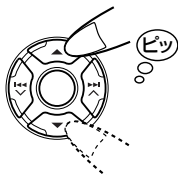
- 23ページの「MP3フォルダ／MP3ファイルの演奏順序」と一緒にご覧ください。

MP3ディスクを聞く(つづき)

フォルダ名を表示させてから選曲する

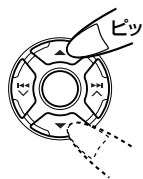
フォルダ名を表示させてから演奏することができます。

1 ▲(または▼)ボタンを1秒以上押し続けてフォルダ名を表示させる



5秒以内に

2 ▲(または▼)を押して開きたいフォルダのリストを選ぶ



5秒以内に

3 数字ボタン(1~6)を押して演奏する



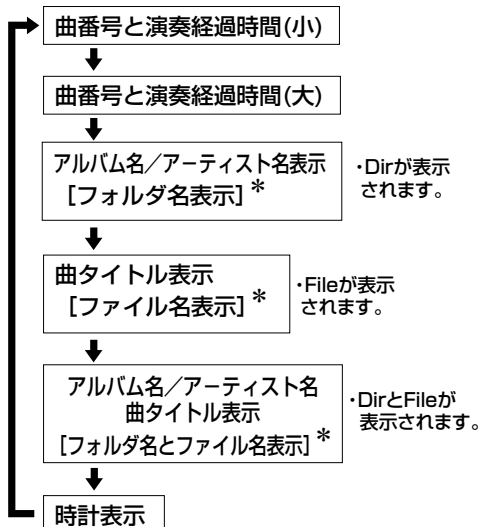
MP3ディスク演奏中の表示を変える

DISP



・DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。

・ID3 Tagがあるとき(Tag「オン」のとき)



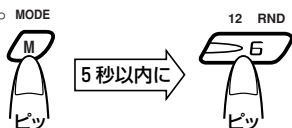
* []内の表示はID3 Tagがないとき、またはTag「オフ」のとき

〈お知らせ〉

- 表示窓には10文字まで表示できます。10文字を超えると、スクロール表示されます。対応以外の文字が入力してあると、「-」が表示されます。
- Tag「オン/オフ」については22 23ページをご覧ください。
- ID3 Tagについては22ページをご覧ください。

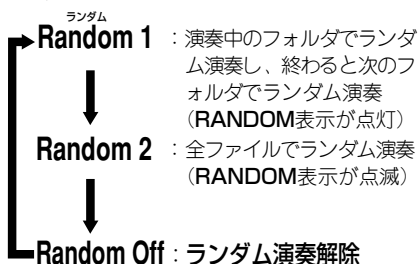
ランダム演奏

MP3 ディスクの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



「Mode」表示が点灯します。

- ・ RNDボタンを押すごとに次のように動作します。



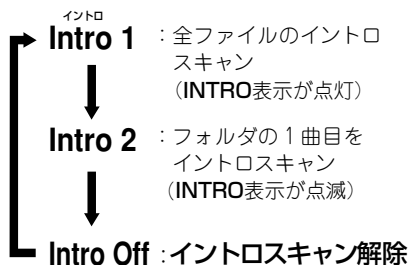
イントロスキャン

聞きたいファイルが素早く探せます。ファイルの頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたいファイルが見つかったら◀◀◀ボタンを押します。



「Mode」表示が点灯します。

- ・ INTボタンを押すごとに次のように動作します。



- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

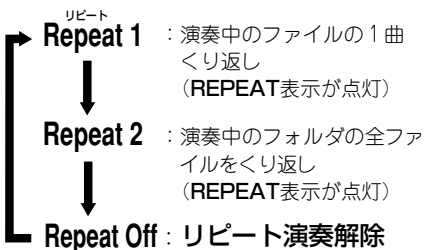
リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中のファイルをくり返して聞くことができます。



「Mode」表示が点灯します。

- ・ RPTボタンを押すごとに次のように動作します。



<お知らせ>

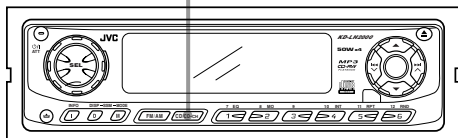
- MODEボタンの使いかたについては、[38](#)ページをご覧ください。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

準備 ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)

1



1 CD/CD-CHボタンを押してソース(音源)を「CD-CH」にする



CD* *本機にCDが入っていないと「NO DISC」が表示されCDにはなりません。

CD-CH : 「CDチェンジャー」になり全曲演奏がスタートします。



● CDチェンジャー演奏中に電源を「切」にしたときは、止まったときのCDからの演奏がスタートします。

⋮

● 最初のCDの演奏が終わると、自動で次のCDの演奏になります。マガジン内の全CDのくり返し演奏になります。

● 演奏を途中でやめる

FM/AMボタンを押して他のソース(音源)に切換えます。または電源を「切」にします。



曲の頭出し (スキップ)

▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。
◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・早戻し (サーチ)

▶▶ : 押し続けている間早送りされます。
◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



● 1～6枚目

数字ボタンを「ポン」と押します。

例：3枚目のとき



● 7～12枚目

数字ボタンを1秒以上押します。

例：12枚目のとき



▲(または▼)ボタンでCDを選ぶ



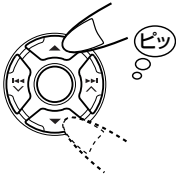
・CD1 → CD2... → CD12
の順に選べます。

・CD12 → CD11... → CD1
の順に選べます。

ディスク名を表示させてからCDを選ぶ

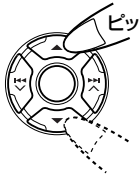
ディスク名を表示させてから演奏することができます。

1 ▲(または▼)ボタンを1秒以上押し続けてディスク名を表示させる



5秒以内に

2 ▲(または▼)ボタンを押して開きたいCDのリストを選ぶ



- ・ディスク名が入力されていないときは「DISC 01」のように表示されます。
- ・トレイにCDが入っていないと「No Disc」と表示されます。

5秒以内に

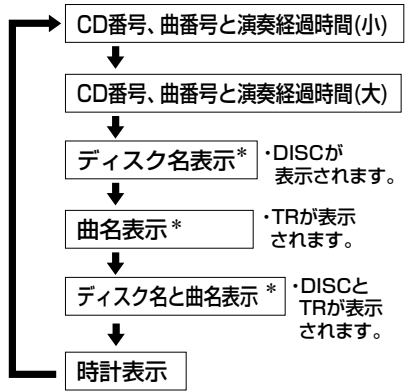
3 数字ボタン(1~6)を押してCDを演奏する



CD演奏中の表示内容を変える



- ・DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。



*ディスク名を入力していないときは、「NO MANE」が表示されます。

〈お知らせ〉

- ディスク名を入力するときは40ページの「文字の入力のしかた」をご覧ください。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

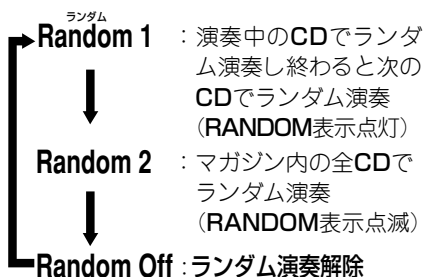
ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



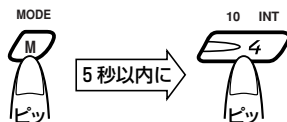
「Mode」表示が点灯します。

- ・ RNDボタンを押すごとに次のように動作します。



イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押します。



「Mode」表示が点灯します。

- ・ INTボタンを押すごとに次のように動作します。



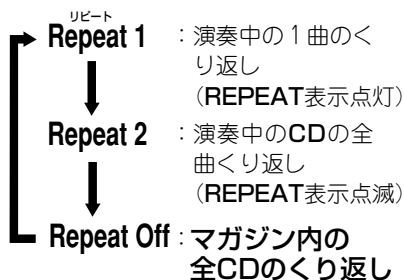
リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



「Mode」表示が点灯します。

- ・ RPTボタンを押すごとに次のように動作します。



〈お知らせ〉

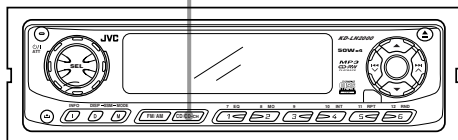
- MODEボタンの使いかたについては、[38](#)ページをご覧ください。

他の機器の音を聞く

準備

- 変換コード：KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子にカーAV機器を接続しておきます。→別紙の取付説明書参照
- CD/CD-CHボタンのモードを「LINE IN」に切換えておきます。
→32 37ページ参照

1



1 CD/CD-CHボタンを押してソース(音源)を「LINE IN(ライン入力)」にする

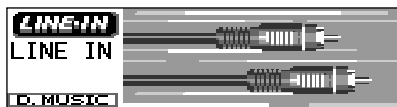


CD*

*本機にCDが入っていないときは「NO DISC」が表示されCDにはなりません。

LINE IN

：「LINE IN」が表示されソース(音源)がライン入力になります。



2 接続した機器を演奏状態にする

- 接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

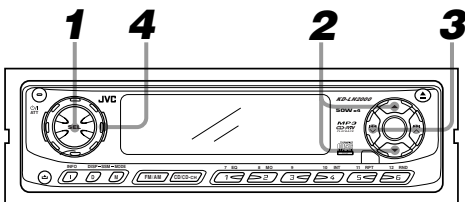
〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- すでにCDチェンジャーを接続しているときは、ご利用になれません。

SELボタンを使った各種設定と調節

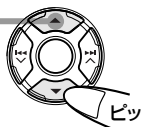
各設定モード(PSMモード)の一覧と設定方法

1 SELボタンを2秒以上押してPSMモードにする



2 メニューを選ぶ

逆に
選べ
ます



3 項目を選ぶ



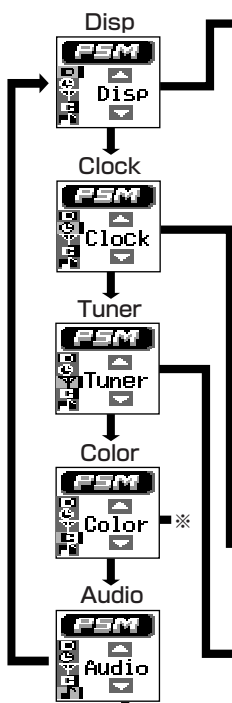
逆に選べます

初期設定

4 設定・調節する



参照
ページ



■Disp(ディスプレイ)

Movie Demo	All Time	All Time ↔ Interval ↕ Off ↕	33
SRC Anime	On	Off ↔ On	33
Scroll	Once	Once ↔ Auto ↕ Off ↕	33
Dimmer	Auto	Auto ↔ Off ↕ Off ↕	33
Contrast	5	1 ~ 10	33
LCD Type	Positive	Positive ↔ Negative ↕ Auto ↕	33
Font Type	1	1 ↔ 2	33
ID3 Tag	On	Off ↔ On	33

■Clock(12時間方式)

Clock Hr	1	1 ~ 12	13
Clock Min	00	00 ~ 59	13

■Tuner

IF Filter	Auto	Wide ↔ Auto	37
-----------	------	-------------	----

■Audio

Beep	On	Off ↔ On	37
Ext Input*	Changer	Changer ↔ Line In	37

※ Colorについては
34~36ページ参照

*現在のソース(音源)が「CD-CH」または「LINE IN」のときは表示されません。

各設定モード(PSMモード)の機能説明(1)

PSMメニュー：Disp

Movie Demo

表示窓のデモ表示を設定する。

- ・ All Time* : 20秒以上何も操作をしないとデモ表示になります。
- ・ Interval : 20秒以上何も操作をしないとソース(音源)表示が20秒間隔でデモ表示になります。
- ・ Off : デモ表示なし。

* All Timeのデモ表示

車やスポーツシーン、景色、EQ設定アニメ等をボジ→ネガで表示します。なおIntervalに切換えると、EQ設定アニメやボジ/ネガの反転表示はしません。

SRC Anime

ソース(音源)を切換えることに表示されるSRC動画アニメを「オン/オフ」することができます。

- ・ On : SRC動画アニメを表示する。
- ・ Off : SRC静止画アニメを表示する。

Scroll

表示窓の文字表示がスクロールされるときのモードを変えることができます。

- ・ Once : 名前表示を切換えたとき1回スクロールする。
- ・ Auto : 一定間隔でスクロールをくり返す。
- ・ Off : DISPボタンを1秒以上押ししたときだけスクロールする。

なお、放送局名は、スクロール表示されません。

Dimmer

表示窓および各ボタンの明るさを状況に応じて変えることができます。

- ・ Auto : 車両のライトを「ON」にすると変わります。
(本機の「イルミネーション」コードを車両のイルミネーション電源に接続しておきます)
- ・ Off : 変わりません。
- ・ On : 常時暗くなります。

Contrast

表示窓のコントラストを調節することができます。運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

- ・ Contrast 1～10の範囲で調節できます。

LCD Type

お好みに合わせて表示窓のタイプを選ぶことができます。

- ・ Positive : 通常のタイプ(ポジ)
- ・ Negative : 通常の反転表示(ネガ)
- ・ Auto : 車両のライトを「ON」にすると変わります。
ライト「OFF」: Positive
ライト「ON」: Negativeに変わる。
(本機の「イルミネーション」コードを車両のイルミネーション電源に接続しておきます)

Font Type

表示される文字の書体を選ぶことができます。

1 :



2 :



ID3 tag

MP3ディスクのID3 tag表示を「オン/オフ」することができます。

- ・ On : ID3 tag表示をする。
- ・ Off : ID3 tag表示をしない。

〈お知らせ〉

- PSMモードにすると、必ずMovie Demoが表示されます。
- ▲ボタンまたは◀◀ボタンを押すとPSMメニューおよび項目は逆に選べます。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- 設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。
SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

SELボタンを使った各種設定と調節(つづき)

各設定モード(PSMモード)のカラー設定方法



本機では、FM/AM/CD/CD-CHごとに12色のパターンから選んで設定することができます。

また、お好みに合わせてオリジナル色に調節することもできます。([カラーを調節する] 図ページをご覧ください)

3 項目を選ぶ	4 設定・調節する	参照 ページ
 逆を選んでます	 初期設定	

Color







① 選択画面 	Source	Source ↔ User	35
Source設定画面 	All Source	All Source ↔ CD ↔ Changer ↕ AM ↔ FM ↕	35
Color設定画面 	Every	≒ Every* ≒ Aqua ≒ Sky ≒ Sea ≒ Leaves ≒ Grass ≒ Rose ≒ Cherry ≒ Orange ≒ Honey ≒ Violet ≒ Grape ≒ Snow ≒ User *EveryはAquaからSnowまで一定時間で変わります。	35

② 選択画面 	Source	Source ↔ User	36
	Day	Day ↔ Night	36
	+7	0 ~ +11	36

*数字が大きくなるほどそれぞれの色が強調されます。

各ソース(音源)ごとにお好みのカラーを設定する

例: All sourceをSkyに設定する。 All source: 全てのソース(音源)は同じカラー設定になります。

▶▶ ボタンを押す	設定する	回転ボリュームを回して選ぶ	表示窓
1. 選択画面 	Source ←→ User	Modeから Source を選ぶ	
2. Source設定画面 	All Source ←→ CD ←→ Changer ↳ AM ←→ FM ↳	ソース(音源)から All Source を選ぶ	
3. Color設定画面 	≡ Every ≡ Aqua ≡ Sky ≡ Sea ≡ Leaves ≡ Grass ≡ Rose ≡ Cherry ≡ Orange ≡ Honey ≡ Violet ≡ Grape ≡ Snow ≡ User* ≡	カラーから Sky を選ぶ	
4. これで設定終了です。SELボタンを押してPSMモードを終了します。			

FM/AM/CD/CD-CHごとにカラーを設定する。

例: CDをRose, FMをSnowにそれぞれ設定する。(AMおよびCD-CHも同様に設定できます)

▶▶ ボタンを押す	設定する	回転ボリュームを回して選ぶ	表示窓
1. 選択画面 	Source ←→ User	Modeから Source を選ぶ	
2. Source設定画面 	All Source ←→ CD ←→ Changer ↳ AM ←→ FM ↳	ソース(音源)から CD を選ぶ	
3. Color設定画面 	≡ Every ≡ Aqua ≡ Sky ≡ Sea ≡ Leaves ≡ Grass ≡ Rose ≡ Cherry ≡ Orange ≡ Honey ≡ Violet ≡ Grape ≡ Snow ≡ User* ≡	カラーから Rose を選ぶ	
4. これでCDにRoseが設定されます。 *設定を終了するときはSELボタンを押してPSMモードを終了します。			
5. 次にFMの設定を行います。 ▶▶ ボタンを押し「Source設定画面」を選ぶ。			
6. Source設定画面 	All Source ←→ CD ←→ Changer ↳ AM ←→ FM ↳	ソース(音源)から FM を選ぶ	
7. Color設定画面 	≡ Every ≡ Aqua ≡ Sky ≡ Sea ≡ Leaves ≡ Grass ≡ Rose ≡ Cherry ≡ Orange ≡ Honey ≡ Violet ≡ Grape ≡ Snow ≡ User* ≡	カラーから Snow を選ぶ	
8. これで設定終了です。SELボタンを押してPSMモードを終了します。			











* Userはお好みのカラーに調節することができます。📖ページをご覧ください。

SELボタンを使った各種設定と調節(つづき)

カラーを調節する

本機は、お好みに合わせてカラーを調節することができます。

例：UserのNightを設定する。

▶▶ ボタンを押す	設定する	回転ボリュームを回して選ぶ	表示窓
1. 選択画面 	Source ↔ User	 を選ぶ	
2. 	Day ↔ Night 本機のイルミネーションコードを車両のイルミ電源に接続しておく、車両のライトを「ON/OFF」することにより表示窓のカラーが変わります。	 を選ぶ ・ Day：車両のライト「OFF」のとき ・ Night：車両のライト「ON」のとき	
3. 	0 ~ +11	それぞれ「0～+11」の範囲で調節する。 数字が大きくなるほどそれぞれの色が強調されます。 ・設定を変更すると自動でメモリーされます。	
4. 	0 ~ +11		
5. 	0 ~ +11		
6. カラー調節が完了したら  ページの「Color設定画面」のカラー設定でUserを選ぶと、表示窓のカラー表示が変わります。			

・車両のライト「ON/OFF」に連動して使用する場合は、DayおよびNightの両方調節することをお勧めします。

各設定モード(PSMモード)の機能説明(2)

PSMメニュー：Tuner

IF Filter

本機のチューナー(FM)は、電波の強さや隣接妨害波などにより自動でIFフィルターを切替えています。

- ・ Auto : 隣接妨害波の有無によって自動でIFフィルターを切替える。
- ・ Wide : 通常の帯域幅に固定する。
(広い帯域幅のフィルター)

PSMメニュー：Audio

Beep

ボタン操作時の「ビップ」音を「オン/オフ」することができます。

- ・ On : ビープ音あり
- ・ Off : ビープ音なし

Ext Input

CDチェンジャー端子に他の機器を接続したときは、「Line In」に切替えます。

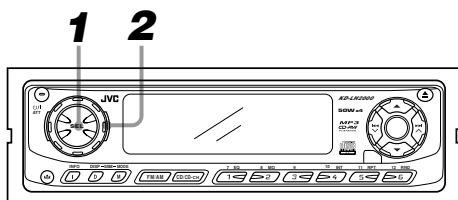
- ・ Changer : CDチェンジャーをつないだとき
- ・ Line In : 他の機器をつないだとき

(ソース(音源)を「CD-CH」または「LINE IN」以外にしてから切替えます)

〈お知らせ〉

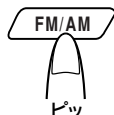
- PSMモードにすると、必ず**Movie Demo**が表示されます。
- 各操作中に5秒以上間隔を空けると設定モードが終了します。
- 設定ができたあとは、**SEL**ボタンを押して終了してください。
SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

MODEボタンの使いかた



1 ソース(音源)を選ぶ

・FM放送のとき



・CD(MP3ディスク)
CD-CHのとき



2 MODEボタンを押す



例：CDのとき

- ・「Mode」が表示されカウントダウン表示が5秒間表示されます。
- ・このとき使える数字ボタンのモードが表示されます。

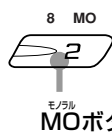
カウントダウン表示



5秒以内に

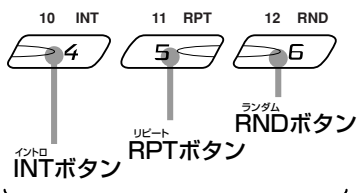
3 数字ボタンを押して使いたいモードを選ぶ

・FM放送のとき



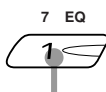
MOボタン → 17 ページ参照

・CD(MP3ディスク)、CD-CHのとき



→ 20 27 30 ページ参照

・ソース(音源)に関係なく



EQボタン → 39 44 ページ参照

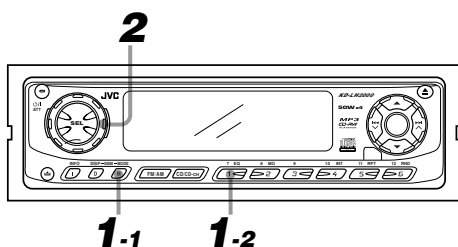
(1回押すと…EQのモード表示
2回押すと…レベルメーター表示)

＜お知らせ＞

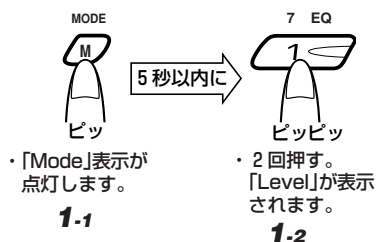
- ・MODEボタンを押したあとは、5秒以内(カウントダウン表示が消えるまで)に次の操作をしてください。

レベルメーターの表示切換え

・表示窓にレベルメーターを表示させることができます。

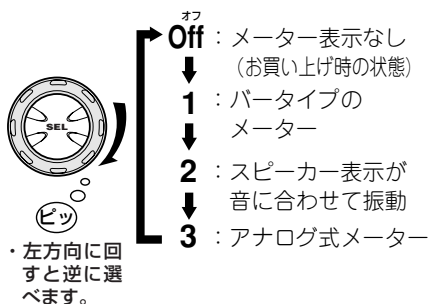


1 MODEボタンを押したあと5秒以内にEQボタンを2回押す

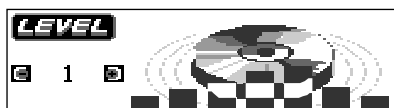


5秒以内に

2 回転ボリュームを回してレベルメーターのパターンを選ぶ



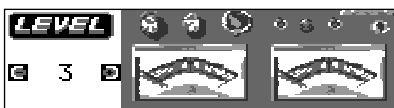
- レベルメーター : 1



- レベルメーター : 2



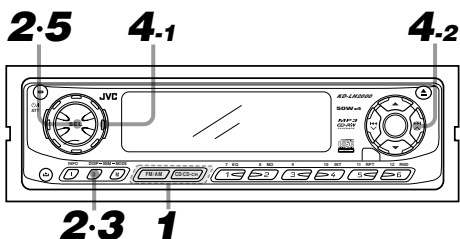
- レベルメーター : 3



文字の入力のしかた

文字の入力と修正・削除

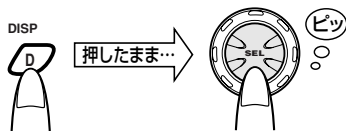
放送局名を30局分/最大10文字、CD/CDチェンジャーは40枚/最大32文字、LINE INは最大8文字まで入力できます。



1 文字を入力したいソース(音源)を選ぶ

・ラジオ、CD/CDチェンジャーまたはLINE INのいずれかを選びます。

2 DISPボタンを押したままSELボタンを同時に2秒以上押す

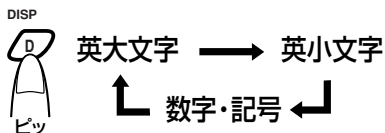


・例:CDのとき



30秒以内に

3 DISPボタンで文字の種類を選ぶ

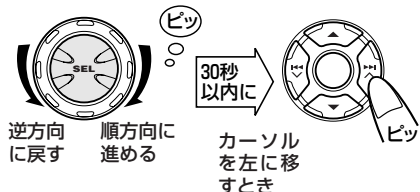


・文字の種類についてはの41ページの「文字配列表」をご覧ください。

30秒以内に

4 回転ボリュームと▶▶Iボタンで文字を入力する

(4-1と4-2をくり返す)



4-1 文字を選び… 4-2 カーソルを右に移す

・文字を間違えたときは、◀◀ボタンでカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。
スペース(空白)を選んで▶▶Iボタンを押すと、文字を消すこともできます。

30秒以内に

4 SELボタンを押して文字を確定する



・全てスペース(空白)を入力し、確定すると文字を消すことができます。
このあとSELボタンを押して確定します。

〈お知らせ〉

- ・文字を確定するときは、必ずSELボタンを押してください。押さないと確定されません。
- ・31局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が点滅表示されます。

文字配列表

● 英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

● 英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

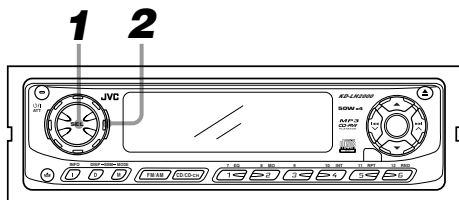
● 数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	\$	%	&	'	()	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- 本機は、この「文字配列表」以外の文字・記号は入力できません。

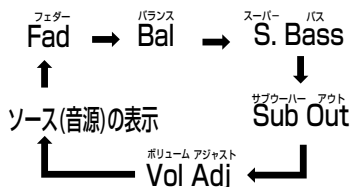
音量・音質の調節



1 SELボタンを押して調節したい項目を選ぶ



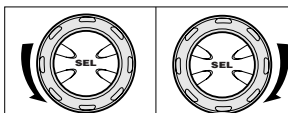
・「ポン・ポン」と押すごとに以下のように変わります。



・音量のみ調節するときは、回転ボリュームを直接回して調節します。

5秒以内に

2 回転ボリュームを回して音量・音質を調節する



Fad (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
Bal (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる

➡ 右上へ続く

S. Bass (重低音)	重低音が減衰する	重低音が強調される
Sub Out (サブウーハー)	サブウーハー音量が下がる	サブウーハー音量が上がる
Vol Adj (ソース間音量)	ソース(音源)の音量を下げる	ソース(音源)の音量を上げる
Volume (音量)	音量が下がる	音量が上がる

・調節から5秒後に、表示窓は自動でソース(音源)の表示に戻ります。

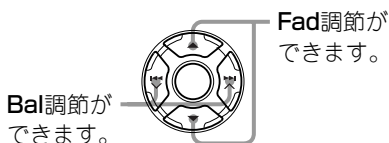
● 音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	設定範囲
Fad (フェーダー)	00 (センター)	リア R06 ~ フロント F06
Bal (バランス)	00 (センター)	リフト L06 ~ ライト R06
S. Bass (重低音)	00 (フラット)	00 ~ 08
Sub Out (サブウーハー)	04	00 ~ 12
Vol Adj (ソース間音量)	00	-12 ~ 00 ~ +12
Volume (音量)	15	00 ~ 50

＜お知らせ＞

- Vol Adj (ソース間音量) は、FM放送の音量を基準にしています。したがってソース(音源)がFMのときは、表示窓に「Fix」が表示され調節できません。➡43ページ参照
- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- 調節したレベルが表示窓に表示されます。
- Sub Out 07でライン出力とサブウーハー出力が同じになります。Sub Out 00にするとサブウーハーから音が出なくなります。
- SUB WOOFER端子からの出力は、本機のフェーダー調節とは連動しておりません。

- SELボタンを押したあとFadを▲/▼ボタンでBalを◀◀/▶▶ボタンで調節する

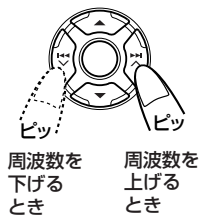


Fad調節ができます。

Bal調節ができます。

- SELボタンを4回押したあとSub Outのカットオフ周波数を選ぶ

接続したサブウーハーの低音が豊かに聞こえるカットオフ周波数を選びます。サブウーハーに周波数切換があるときは、それに合わせます。



Low (50Hz)



Mid (80Hz)



High (115Hz)

ソース(音源)ごとの音量差を調節する

AM放送やLINE INなどの音がFM放送の音より小さい(または大きい)ときは、音量差を調節することができます。

1 調節したいソース(音源)を選ぶ

・AM、CD(MP3ディスク)、CDチェンジャーまたはLINE INから選びます。

2 SELボタンを5回押して「Vol Adj」を選ぶ



・お買い上げのときは「Vol Adj 00」が表示されます。

・ソース(音源)が「FM1」または「FM2」のときは、表示窓にレベル表示の代わりにFixが表示され調節できません。

5秒以内に

3 回転ボリュームを回してソース(音源)の音量を調節する



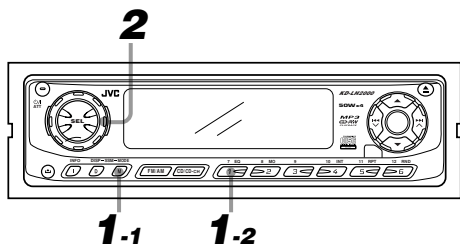
・調節範囲
-12 ~ 00 ~ +12

音量を下げる 音量を上げる

・調節から5秒後に、自動でソース(音源)の表示に戻ります。

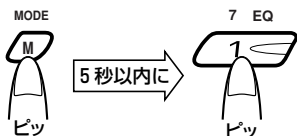
EQ*の使いかた

・本機には、あらかじめ12のEQパターンがメモリーされています。



●EQパターンの呼び出し

1 MODEボタンを押したあと5秒以内にEQボタンを押す



・「Mode」表示が点灯します。

1-1

・お買い上げ時は「Flat」が表示されます。

1-2



5秒以内に

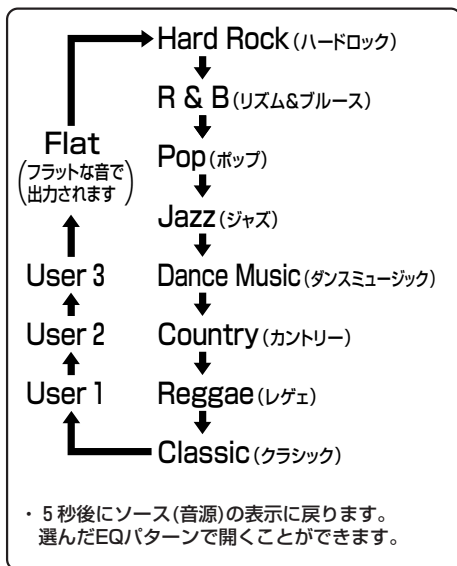
2 回転ボリュームでEQのモードを選ぶ



右方向に回したとき

・EQのパターンが表示窓に表示されます。右上のリストは回転ボリュームを右方向に回したときのEQのモードです。

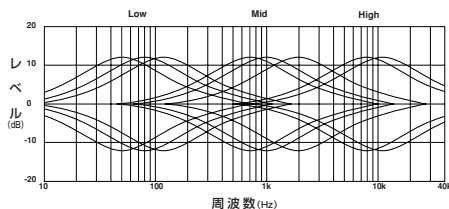
左方向に回すと逆に変わります。



＜お知らせ＞

- User 1～User 3 には、ご自分で調節したEQパターンがメモリーできます。
→ 45 ページ参照
お買い上げ時はFlatと同じEQパターンになっています。
- Hard Rock～Classic には、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと調節したEQパターンはFlatと同じEQパターンに戻ります。
- MODEボタンの使いかたについては、38 ページをご覧ください。

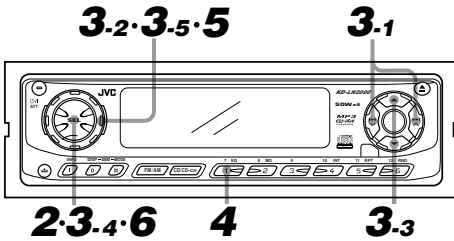
●EQパターンの各帯域ごとの変化特性図



*EQは：

Equalizer(イコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称。

調節したEQをメモリーしておく



1 調節したいEQのモードを選ぶ

→44ページ手順1・2参照

5秒以内に

2 SELボタンを押してEQの調節モードにする

バンド：3-1の操作で変わる

中心周波数：3-2の操作で変わる



レベル表示：3-3の操作で変わる

Q(バンド幅)：3-5の操作で変わる

・以下の項目が調節できます。

バンド	Low	Mid	High
中心周波数	50Hz ↓ 80Hz ↓ 120Hz	700Hz ↓ 1kHz ↓ 2kHz	8kHz ↓ 12kHz
Q(バンド幅)	Q1~Q4	Q1~Q2	—
レベル	-06dB~00~+06dB		

15秒以内に

3 EQを調節する

3-1 ▶▶(または◀◀)を押してバンド(Low、MidまたはHigh)を選ぶ

3-2 回転ボリュームを回して中心周波数を選ぶ

3-3 ▲(または▼)ボタンを押してレベルを調節する

3-4 SELボタンを押してQ(バンド幅)の調節モードにする
(バンドがLowまたはMidのときのみ)

3-5 回転ボリュームを回してQ(バンド幅)を調節する

3-6 手順3-1~3-5をくり返す

15秒以内に

4 EQボタンを押す



15秒以内に

5 回転ボリュームを回してメモリーしておくモード(User 1~User 3)を選ぶ

15秒以内に

6 SELボタンを押す

・「Memory」が表示され調節したEQのパターンがメモリーされます。

コントロールパネルの着脱

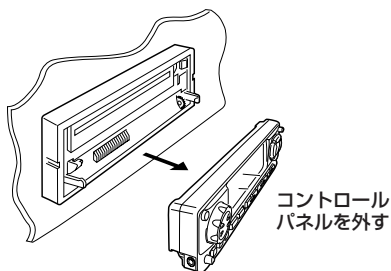
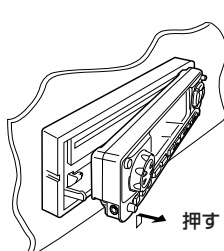
コントロールパネルを外す

1 電源 / ATT ボタンを1秒以上押して電源を「切」にする



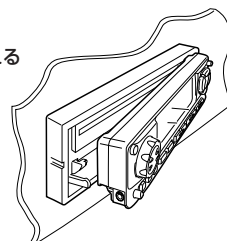
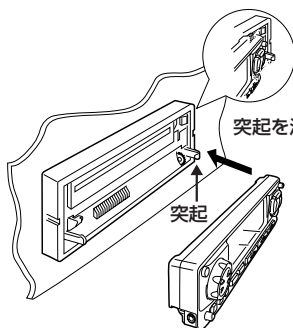
・ 1秒以上押す。

2 △(コントロールパネル取り外し)ボタンを押す

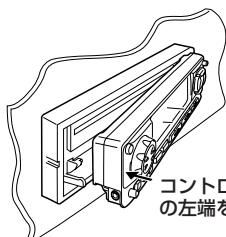


コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルの右側を本体に合わせて入れる



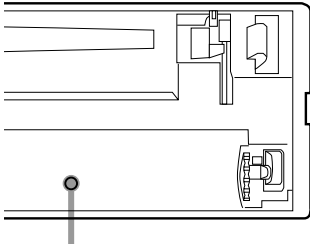
2 コントロールパネルの左端を「カチッ」と音がするまで押す



故障かな？と思う前に

—おや？故障かな？と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

コントロールパネルの着脱・故障かな？と思う前に

症 状	原 因 ・ 処 置
<p>どのボタンを押しても正しく動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 →リセットボタンを押す。 (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります) <p>操作のしかた</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コントロールパネルを外す →46ページ参照 2 リセットボタンをボールペンの先などで押す  <p>リセットボタン</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 コントロールパネルを取り付ける →46ページ参照
<p>電源を切ったが「ATT」表示が点滅する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ϕ/I (電源) / ATT ボタンを「SEE YOU」が表示されるまで…1秒以上…押す。
<p>電源が入らない。 (DISPボタンを押すと) 時計は表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源 (ACCライン) のコードが接続されていないため。 ● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため。 →12ページ参照
<p>CDの取り出しができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 →CD/CD-CHボタンを押したまま ϕ/I (電源) / ATT ボタンを同時に2秒以上押す。→21ページ参照

故障かな？と思う前に(つづき)

症 状	原 因 ・ 処 置
CDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● 音量を適度に調節する。● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。● CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクを使用している。 →ディスクのマークを確認する。(→18ページ参照)
CD-R/CD-RWディスクの再生ができない。 CD-R/CD-RWディスクのスキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none">● ファイナライズ処理がされていないため。 →ファイナライズ処理したディスクと交換する。 または録音した機器でファイナライズ処理をする。
「ピッピッピ」音のあとPLEASE EJECTが表示される。	<ul style="list-style-type: none">● CDが裏返しに入っている。 →文字のある面を上にしてCDを入れ直す。
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none">● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナプースター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源」コードを正しく接続する。● 放送局の周波数に正しく合わせる。● 携帯電話などを本機から離す。
CDの出し入れやコントロールパネルを開けたとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none">● これらの動作のときは、音声にミュートンゲをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。
MP3 ディスク演奏中にDISPボタンを押したとき、フォルダ名やファイル名が「-」表示になる。	<ul style="list-style-type: none">● フォルダ名やファイル名が半角の英数字以外で入力されている。→24ページ参照

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名や曲名が記録されていないときDISPボタンを押したため。 → ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。 ● 放送局名が入力されていないときDISPボタンを押したため。 → 放送局名を入力する。
PLEASE EJECT	<ul style="list-style-type: none"> ● CDの読み取りでエラーが発生したため。 ● CD-R/RWに記録したデータが劣化している (→19ページ) ● ファイナライズ処理がされていない。(→19ページ) → ▲(CD取出し)ボタンを押したあとCDを入れ直す。 または他のCDを入れ直して本機が異常でないか確かめる。
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● CDが入っていないときCD/CD-CHボタンを押したため。(CDチェンジャー端子に何も接続していないとき) → CDを入れる。
● CDチェンジャー	
RESET 8	<ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 → CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
RESET ^{数字} ○	<ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 → CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

47～49ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング
周 波 数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクタ×1
(JASOプラグ仕様)

FMチューナー部

- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実 用 感 度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)

AMチューナー部

- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実 用 感 度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
リア 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 入 力 端 子：DINジャック×1
- 出 力 端 子：LINE OUT(2系統)、
2.0V/1k Ω
SUB WOOFER(1系統)

電源部・その他

- 電 源 電 圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取 付 寸 法：幅178mm×高さ50mm×奥行150mm
- 外 形 寸 法：幅178mm×高さ50mm×奥行168mm
- 質 量：約1.4kg(付属品含まず)

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクタ)…………… 1
- ・ネジ(M5×6mm)…………… 4
- ・皿ネジ(M5×6mm)…………… 4

別売りのオプション品

- ・リ モ コ ン：RM-RK41J
- ・クリーニングキット：CK-25(CD用)
- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)
- ・変 換 コ ー ド：KS-U57

お手入れ

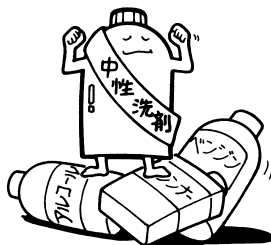
本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または**中性洗剤**を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」
をご覧ください。

☎ 0120-977846 (フリーコール)
FAX(027)254-8927

受付時間 10:00~18:00
(土、日、祝日、当社休日を除く)
〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

カーAV機器ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

☎(027)254-8926